

# 学歴・職歴

---

■大学① 千葉大学理学部生物学科

■大学② 帯広畜産大学畜産学部獣医学課程（学士編入）

所属研究室：動物医療センター

■職場① 安田動物病院（兵庫県西宮市）（2014年～2019年3月）

■職場② 東京大学附属動物医療センター内科系診療科

研修医（2019年4月～2021年3月）

血液・免疫科/腫瘍内科 特任臨床医（臨床教員、2021年4月～）

# 受賞歴

---

- 2015年 日本小動物獣医学会獣医学術近畿地区学会 優秀研究褒賞
- 2016年 日本獣医師会獣医学術学会年次大会（秋田） 学術学会賞
- 2016年 日本小動物獣医学会獣医学術近畿地区学会 奨励研究褒賞
- 2017年 日本小動物獣医学会獣医学術近畿地区学会 奨励研究褒賞
- 2017年 第13回日本獣医内科学アカデミー学術大会（横浜） 臨床研究アワード
- 2018年 日本小動物獣医学会獣医学術近畿地区学会 優秀研究褒賞
- 2020年 第16回日本獣医内科学アカデミー学術大会（横浜） 臨床研究アワード

# 学術論文・講演

---

## 学術論文

- 犬のTAT測定の基礎的検討と臨床的有用性  
(日本獣医師会雑誌 70巻・1号,p.47-51(2017-01))
- 出血傾向を伴わずに活性化部分トロンボプラスチン時間 (APTT) が単独延長した猫の3例  
(動物臨床医学 27 (4), 144-147, 2019-01-15)

## 講演

- 2018年 日本小動物獣医学会 (近畿) 褒賞受賞者特別講演  
「凝固マーカーTATの臨床応用と獣医療における新たなDIC診断～凝固亢進状態を一刻も早く見つけ出すために～」
- 2021年 VMCセミナー教育講演  
「掘り下げるとちょっと面白い、血液凝固・線溶の話」
- 2022年 北海道小動物臨床獣医師協議会セミナー  
「DICの現在(いま)とこれから」
- 2023年 第20回 獣医臨床感染症研究会セミナー  
「施設ごとの耐性傾向に基づいた抗菌薬使用ルールを考える：二次診療施設(小動物)における抗菌薬選択～アンチバイオグラムの臨床的有用性～」
- 2024年 MGL学園附属動物高度医療センター定期セミナー  
第5回「輸血によってできること～血液製剤を有効に使うために～」

# 執筆

- リバーロキサバンの投与を行った血栓症の犬23例の回顧的検討 (SA Medicine 2020)
- 血球異常～数の異常～各論1) 赤血球 (Clinic Note 2022)
- 抗血栓薬各論：ヘパリン類 (SA medicine 2022)
- Vet Board QUIZ 腫瘍⑨ (Veterinary Board 2022)
- 抗菌薬の有害事象6 クロラムフェニコール：骨髄抑制 (SA medicine 2023)
- 二次診療施設における取り組み⑤  
～犬の溶血性貧血に対するアプローチ～ (共立SAC NAVI 2023)
- 耳道にリンパ腫が発生した猫の一例 (Veterinary Board 2023)
- 腸間膜にリンパ腫が発生した猫の一例 (Veterinary Board 2023)
- 中枢神経にリンパ腫が発生した犬の一例 (Veterinary Board 2023)
- 膀胱にリンパ腫が発生した犬の一例 (Veterinary Board 2023)
- 犬と猫の抗がん薬治療の違い (動物看護 2023)
- 貧血の鑑別と輸血介入メソッド 犬の貧血の鑑別ケーススタディ (CAP 2023)
- 化学療法が適用となる腫瘍とその治療薬4 形質細胞由来腫瘍 (SA medicine 2024)
- 免疫介在性溶血性貧血1～病態と診断～ (CAP2024)
- 免疫介在性溶血性貧血2～治療と予後～ (8月掲載予定) (CAP2024)
- 高侵襲性腫瘍にフォーカスする～診断を下した後にすべきこと・できること～  
各論 急性骨髄性白血病 (10月掲載予定) (Veterinary Oncology2024)